



発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2025
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。

作ろう木の町、優しい街



木材建材ワイフリー
Japan Lumber Reports
電子版

創刊 80 周年記念キャンペーン

電子版の試読1ヵ月無料

ぜひ1度お試しください
お申し込みはホームページから



主な記事

- ▽2面 旭化成ホームズ ALC由来の再生土で実証実験
- ▽3面 建材商況 需要の乏しさ続く
- ▽4～5面 東海版 日本木工機械展 10月2～4日 ポートメッセなごや
- ▽6面 資源・資材の発掘戦略 共力
- ▽7面 東京中央木材市場 京南木材

問い合わせ対応をAIで自動化

チャットボットが丁寧な回答

ネットイーグル

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は、生成AI(ChatGPT5)を活用したCAD製品のサポートサービスを始める。チャットボットで質問すると、操作マニュアルや関連資料など同社の膨大な著作物からAIが自動で回答する。時間を選ばず、適切な回答を即座に提供することでユーザーの利便性を高めると同時に、同社サポート課の負担を軽減し、サポート品質の向上につなげるのが狙い。保守サービスへのAI活用はプレカットCADで初めてとみられる。

サービス名は「イーADの保守サービス」クラブの会員向けに「CADのヘルプに追加されたメニューをクルあいちゃん」。C手掛ける「スピリット」11月から提供する。

リックするとチャットボットが立ち上がる。トップ画面から問い合わせたいCAD名を選択し、質問を入力すると、操作マニュアルや関連資料、カタログ、ホームページなど、同社が作成したすべての著作物及びサポート課がこれまでに対応したサポート履歴から適切な解決策を導き出して提案する。

対話形式での回答のほか、引用した参考資料がリストで表示される。分かるまで何度でも質問でき、解決しない場合は同社のサポート課に直接回答を依頼できる。サポート課にはチャットでのやり取りも質問でき、解決しない場合は同社のサポート課に直接回答を依頼できる。サポート課にはチャットでのやり取りも質問でき、解決しない場合は同社のサポート課に直接回答を依頼できる。

祖父江社長は「サポート課が社内でも活用していた仕組みをユーザー向けにオープン化した。新入社員がCADの操作方法や知識を覚えるのにも大変役立つ。AIの将来は図り知れず、何にどう応用できるかを今後も探っていきたい」と話す。

りも送られるため、ユーザーは一から質問し直す手間が省け、サポート課はポイントを押さえた回答ができる。同社が作成した著作物のみから検索するため、同社が関知しない情報などは混入しない仕組み。ChatGPT5ではAIが事実と異なる回答をするハルシネーションのリスクも大幅に軽減されているという。今後は、バージョンアップ情報やサポート履歴情報などを追加しながら、機能の向上を図っていく。